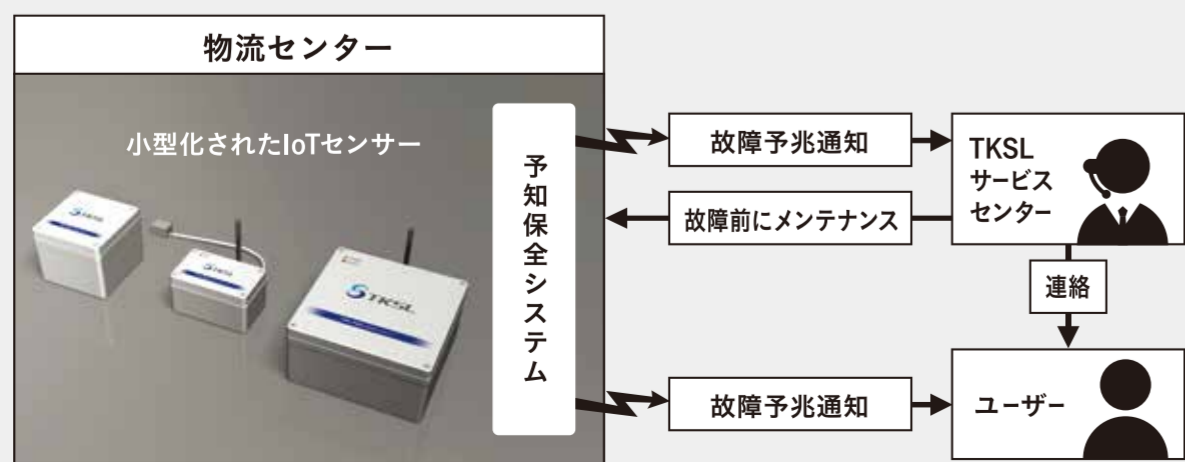


ブツリユースは、故障を予知する。

【 変動データをAIで解析して故障の予兆を検出しアラームを配信 】



予知保全サービスの仕組み

現在、物流の現場では、新しい生活様式や巣ごもり需要などの生活環境の変化によって、EC、生協市場が急速に拡大している。社会インフラとしてますます欠かせない存在となった物流。その中核となる物流センターの「止めない物流」を実現するため、TKSLはAIとIoTを活用して異常を事前に検知する「予知保全」システムを開発した。独自開発の高性能IoTセンサーとAIを組み合わせたそのシステムは、単なる振動ではなく、設備稼働中の繊細な振動変化を検知。その変動データをAIが解析することで、故障の予兆を検出しアラームを配信する。また、故障する時期が事前にわかるため、最適なタイミングでの部品交換が可能に。AIとIoTの活用により、時間もコストも削減できるこのかつてない予知保全システムが、物流センターの安定稼働を支えていく。

80th
ANNIVERSARY

トヨタカネツ
TKSL

